

平成 20(2008)年 7 月 22 日

独立行政法人 都市再生機構

「平成 20 年版 環境報告書 まち・住まいと環境」の公表について

平成 19 年度の UR 都市機構の事業活動における環境配慮の取り組みについて取りまとめた、「平成 20 年版 環境報告書 まち・住まいと環境」を公表いたします。

本報告書では年次報告に加え、特集として UR 都市機構の CO2 削減目標を掲げた地球温暖化対策実行計画「UR-ecoプラン 2008」、事業完了を迎えた八王子みなみ野シティの環境共生の取り組みを取り上げました。

年次報告では、各環境配慮方針に沿った UR 賃貸住宅の事例紹介「団地 × eco」などを掲載し、UR 都市機構の業務と環境との関わりを皆様に分かりやすくお伝えするため工夫しました。

本報告書をご一読いただき、皆様から広くご意見をお伺いし、業務の改善に努めていきたいと考えております。

なお、本報告書は、www.ur-net.go.jp/e-report/からもご覧いただけます。

お問い合わせは下記へお願いします。

本社 業務企画部 都市環境企画室
(電話) 045-650-0154
本社 カスタマーコミュニケーション室 報道担当
(電話) 045-650-0887

——— 街に、ルネッサンス ———



UR 都市機構

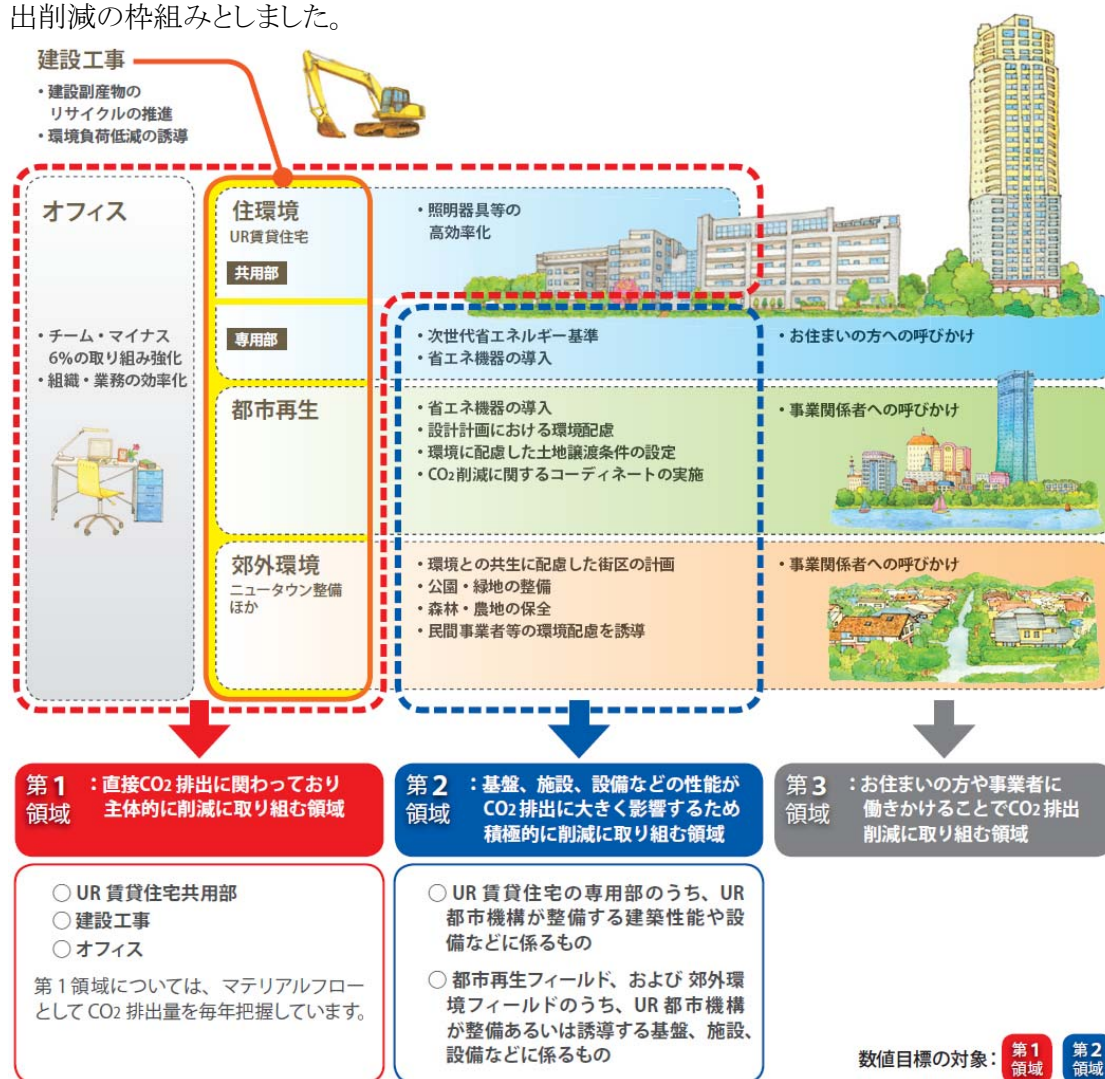
平成 20 年版環境報告書の概要

この環境報告書は、環境配慮促進法に基づき、UR 都市機構の全ての組織における平成 19 年度の事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取り組み状況について報告するために作成したものです。

— 主な内容 —

特集 1 地球温暖化対策実行計画「UR-ecoプラン 2008」

事業ごとの特性や各事業におけるCO₂ 排出の現状分析を踏まえ、UR 都市機構がCO₂ の排出に關与する度合いにより、計画の対象分野を、3 つの領域に区分整理し、CO₂ 排出削減の枠組みとしました。



数値目標の対象

UR 都市機構は、あらゆる分野・領域で CO₂ 削減に向けた取り組みを進めることにしていますが、数値目標は、CO₂ 排出削減の枠組みで示した第 1 領域と第 2 領域における取り組みを対象に設定します。

CO₂ 排出の削減総量

数値目標は、平成 17 年度を基準とした平成 25 年度における各分野の CO₂ 排出削減量の合計とします。**目標削減総量は 1 万 4 千 t** です。

年次報告

1. 環境にやさしいまちや住まいをつくります

① 都市の自然環境の保全・再生に努めます

UR賃貸住宅の屋外空間における緑地の創出／ニュータウン整備における取り組み
【おゆみ野地区における総合的なヒートアイランド対策】 ほか

② まちや住まいの省エネルギー化を進めます

次世代省エネルギー基準による住宅供給／省エネ機器の設置（照明、給湯器等）
【葛城地区の環境共生型まちづくり】 ほか

③ 資源の有効利用と廃棄物の削減に努めます

建設副産物の3Rの推進／K S I住宅システムの導入／UR賃貸住宅の再生・活用
【茨城地域支社における個別指定制度を活用した建設副産物の大規模リサイクル】 ほか

④ まちや住まいの安全・安心と快適性を確保します

通風・換気への配慮／美しい都市景観の形成／災害に強いまちづくり
【柏崎市の震災復興支援】 ほか

⑤ 皆様と一緒に環境に配慮したライフスタイルを考えます

UR賃貸住宅のお住まいの方々への環境配慮の呼びかけ／「新・郊外居住」の取り組み
【UR賃貸住宅にお住まいの方々を対象とした「家庭の省エネ講座」の開催】 ほか

2. 環境に配慮して事業を進めます

① 環境負荷の少ない事業執行に努めます

環境に配慮した計画の策定・工事の実施／職員の環境意識向上の取り組み／
UR都市機構の環境配慮推進体制／平成19年度のマテリアルフロー

② 環境に関して皆様とコミュニケーションを深めます

社会貢献活動の実施／環境報告書の作成
【ガーデンシティ舞多聞におけるコミュニティ育成型まちづくり】 ほか

特集2

平成20年3月に事業完了を迎えました「八王子みなみ野シティ」における環境共生とコミュニティ育成の取組みを紹介しました。

有識者意見

(社)環境情報科学センター 理事長 丸田頼一 氏

参考資料

平成19年度 年度計画（環境関連部分の抜粋）、主な業務実績 ほか